

授業科目 NO. 305 成人看護学概論

Introduction to Adult Nursing

授業の形態：講義

単位数（時間数）：2単位（30時間）

開講年次・学期：2年次・前期

必修・選択の別：必修

キーワード：成人看護、発達段階、発達課題、急性期看護、クリティカルケア看護、慢性期看護、リハビリテーション看護、がん看護、緩和ケア

1 金沢医科大学看護学部への到達目標（全科目共通です）

- ① 豊かな人間性と倫理観
- ② 看護学の知識と技術、及び実践力
- ③ 地域志向を視野に入れた専門性の獲得
- ④ 生涯学習能力
- ⑤ 国際的視野の獲得

2 学習目標

1) 一般目標（GIO）

成人における発達段階・保健の動向・生活と健康との関係を理解したうえで、急性期・クリティカル期・リハビリテーション期・慢性期という経過別の身体状態、ならびに心理状態について理論に基づき理解する。併せて、健康課題を解決するための看護援助を経過別に理解する。さらに、成人の健康の再構築のために必要なセルフケア／セルフマネジメントと、安寧な生活を護るために必要ながん看護・緩和ケアの方法を理解する。健康障害を有しながら様々な社会生活を営む成人の理解を深めるための視点を理解する。

2) 行動目標（SBO）※カッコ内の数字は上記の金沢医科大学看護学部への到達目標との関連を示す。

- (1) 成人期における発達段階の特徴を説明できる。(①②)
- (2) 成人期における保健の動向、ならびに生活と健康との関係を説明できる。(①②)
- (3) 成人における経過別の身体と心理状態の特徴を科学的な根拠や理論に基づき説明できる。
(①②)
- (4) 成人における経過別看護で必要となる看護援助の知識と技術について説明できる。(①②③)
- (5) 成人期にある人とその家族がセルフケア／セルフマネジメントを促進する支援について説明できる。(②③)
- (6) 成人期にあるがん患者とその家族の安寧な生活を支える看護を説明できる。(①②③)

3 学習内容

授業の内容については、授業計画に示す。

4 評価

評価項目	評価割合
定期試験成績	90%
実習成績	%
レポート	10%
授業態度	%
小テスト	%
その他	%
合計	100%

(特記事項)

5 教育担当者

科目責任者：村角 直子

教 授 村角 直子 (成人看護学)
 准 教 授 清水 玲子 (成人看護学)
 准 教 授 北村 佳子 (成人看護学)

6 教育担当者の実務経験

担当教員は看護師の実務経験を有している。

7 教科書

小松浩子他 (編集)：成人看護学 1 成人看護学総論、医学書院
 林直子他 (編集)：成人看護学 急性期看護Ⅰ 概論・周手術期看護、南江堂
 鈴木久美他 (編集)：成人看護学 慢性期看護 病気とともに生活する人を支える、南江堂
 宮下光令 (編集)：ナーシング・グラフィカ 成人看護学⑥緩和ケア、メディカ出版

8 推薦参考書

- 1) 吉田澄恵他 (編集)：ナーシング・グラフィカ 成人看護学② 健康危機状況/セルフケアの再獲得、メディカ出版
- 2) 安酸史子他 (編集)：ナーシング・グラフィカ 成人看護学③ セルフマネジメント、メディカ出版
- 3) 奥宮暁子他 (編集)：ナーシング・グラフィカ 成人看護学⑤ リハビリテーション看護、メディカ出版
- 4) 佐藤まゆみ他 (編集)：成人看護学 急性期看護学Ⅱ救急看護・クリティカルケア 改訂第3版、南江堂

9 準備学習に必要な時間及び具体的な学修内容

授業 1 コマにつき、事前学習・事後学習として計 180 分程度必要です。

1) 以下の授業では、教科書を読み、理解を深めること。

- 1 回目の授業 成人看護学総論の第 1 章 B①生活を営むこと、②仕事をもち、働くこと
- 2 回目の授業 成人看護学 慢性期看護の第Ⅲ章 A.セルフケア、C.自己効力感
- 3 回目の授業 成人看護学総論の第 5 章 C 生活行動がもたらす健康問題とその予防
- 4 回目の授業 成人看護学総論の第 5 章 B②ストレスと健康生活、第 6 章 B 急性期にある人の看護①危機にある人々への支援
- 5 回目の授業 ナーシング・グラフィカ 成人看護学⑥緩和ケアの第 2 章 8 がん治療に伴う苦痛の緩和、2 がん薬物療法に伴う苦痛の緩和、3 放射線療法に伴う苦痛の緩和
- 6 回目の授業 ナーシング・グラフィカ 成人看護学⑥緩和ケアの第 2 章 1 身体症状概論、2 疼痛の治療と看護
- 7 回目の授業 ナーシング・グラフィカ 成人看護学⑥緩和ケアの第 1 章 2 緩和ケアとは何か
- 8 回目の授業 急性期看護Ⅰ 概論・周手術期看護の第 1 部 2.B 患者が体験する侵襲、C ショック、第 2 部第Ⅰ章周術期看護とは
- 9 回目の授業 急性期看護Ⅰ 概論・周手術期看護の第 2 部第Ⅳ章手術後期の看護
- 10 回目の授業 急性期看護Ⅰ 概論・周手術期看護の第 2 部第Ⅱ章手術前期の看護、Ⅲ章手術期の看護
- 11 回目の授業 成人看護学総論の第 11 章 B 新たな治療法・医療処置を受ける患者・家族の看護
- 12 回目の授業 成人看護学総論の第 6 章 C 救急医療を必要とする人々
- 13 回目の授業 成人看護学総論の第 8 章 B 障害がある人とその生活を支援する看護
- 14 回目の授業 成人看護学総論の第 10 章 A 療養の場の移行支援の基礎知識
- 15 回目の授業 成人看護学 慢性期看護の第Ⅱ章 3. 慢性疾患を有する人の生活および社会的特徴、第Ⅲ章 2. 治療・療養を促進する支援

2) 最新の知見を学修するための情報へのアクセス方法や情報源は、授業内で紹介を行う。

10 課題（試験やレポート等）に関するフィードバック

- 1) 試験に関しては、質問をもとに解説を提示する。
- 2) 提出された課題については、授業の中で取り上げ解説を行う。

11 履修上の注意事項

- 1) 配布資料はまとめ、活用できるようにしておくこと。
- 2) レポートの提出期限を厳守すること。

12 オフィスアワー等

随時訪問は可能であるが、事前に都合を確認すること。

村角（murakado@kanazawa-med.ac.jp）

清水（rshimizu@kanazawa-med.ac.jp）

北村（kitamu@kanazawa-med.ac.jp）

第2学年

成人看護学概論

学期	回数	開講日	時限	区分	講義・実習内容	レポート/小テスト等	講座・科目群名	教員名
前	1	4月07日(月)	4	講義	ガイダンス、成人期の特徴		成人看護学	村角教授
前	2	4月14日(月)	4	講義	セルフケアとセルフ・エフィカシー／ 教育的アプローチ：成人教育学（アンド ゴラジー）		成人看護学	村角教授
前	3	4月21日(月)	4	講義	成人を取り巻く環境と生活と健康：生 活習慣・職業・生活ストレスに関連す る健康障害	レポート	成人看護学	村角教授
前	4	4月28日(月)	4	講義	ストレスとコーピング／危機理論		成人看護学	清水准教授
前	5	5月12日(月)	4	講義	がん看護1：化学療法・放射線療法		成人看護学	北村准教授
前	6	5月19日(月)	4	講義	がん看護2：がん性疼痛緩和		成人看護学	北村准教授
前	7	5月26日(月)	4	講義	緩和ケアと終末期看護		成人看護学	北村准教授
前	8	6月09日(月)	4	講義	周手術期看護1		成人看護学	清水准教授
前	9	6月16日(月)	4	講義	周手術期看護2		成人看護学	清水准教授
前	10	6月23日(月)	4	講義	周手術期看護3		成人看護学	清水准教授
前	11	6月26日(木)	4	講義	新たな治療法、先端医療と看護 遺伝 看護	レポート	成人看護学	村角教授
前	12	6月30日(月)	4	講義	クリティカルケア看護		成人看護学	清水准教授
前	13	7月07日(月)	4	講義	リハビリテーション看護		成人看護学	村角教授
前	14	8月25日(月)	4	講義	療養の場の移行支援と外来看護		成人看護学	村角教授
前	15	9月01日(月)	4	講義	慢性期看護		成人看護学	村角教授